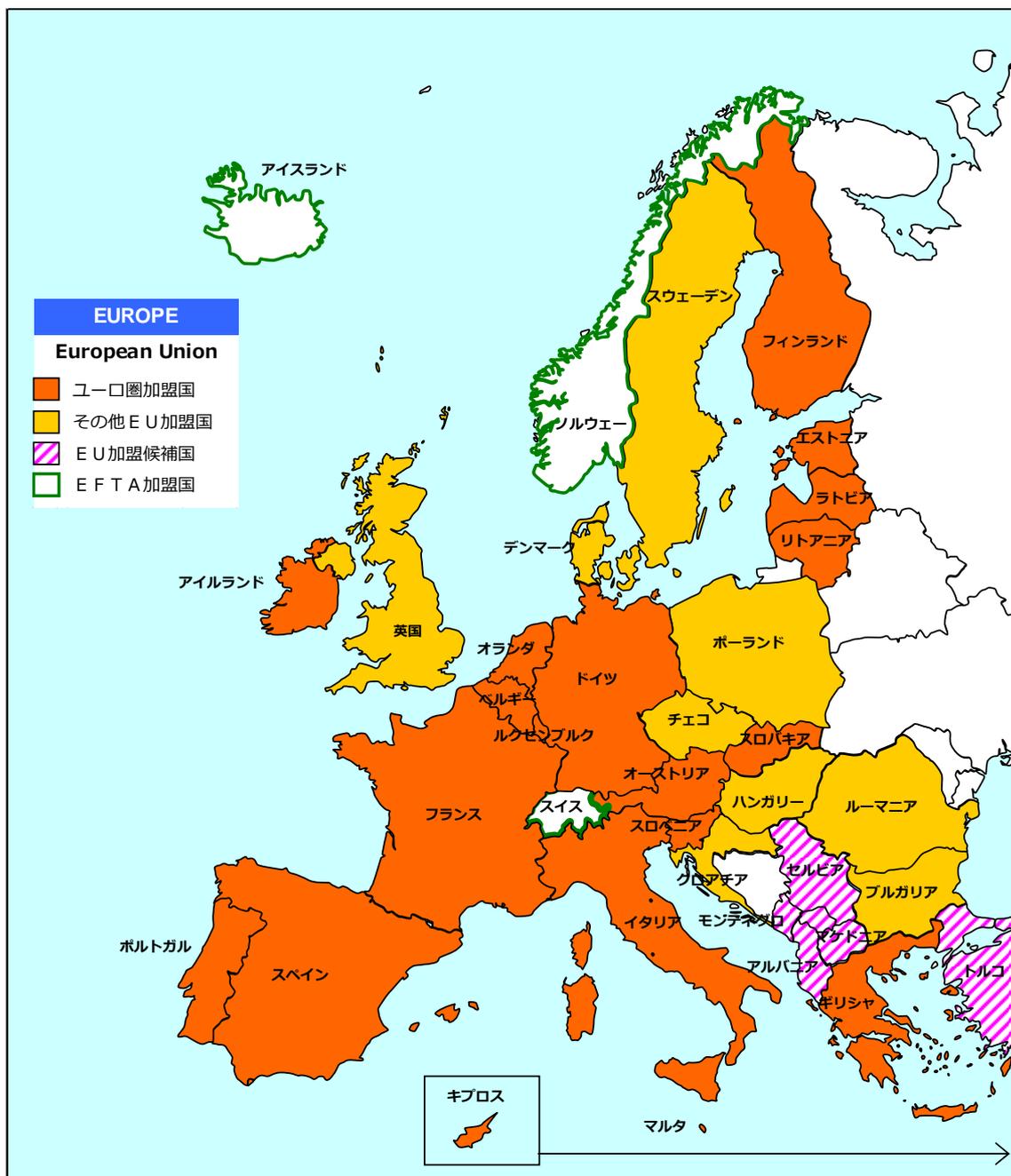


欧州経済アップデート (2016.6)

経済調査部
主席研究員 山崎 加津子

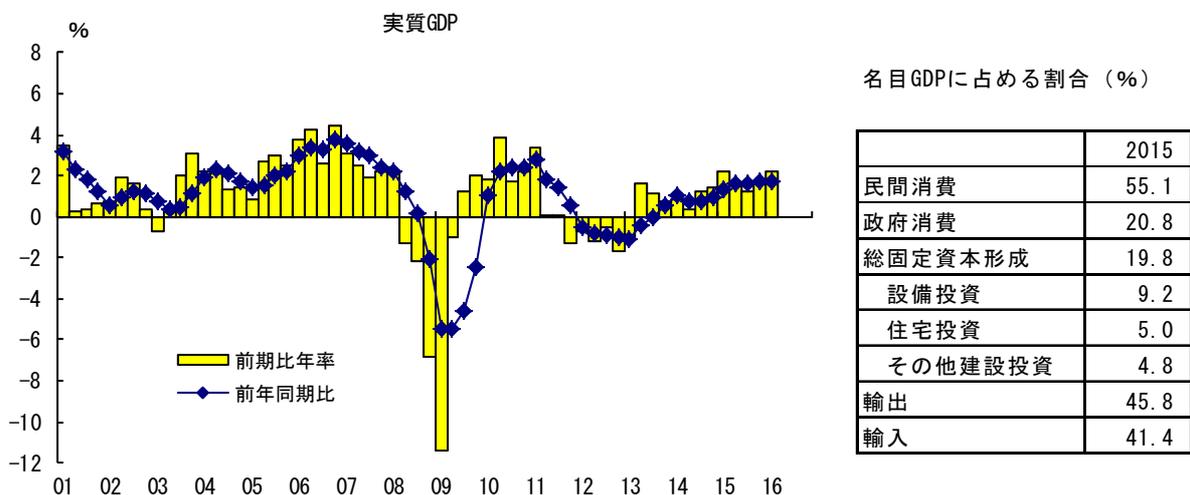


出所：三角形「白地図専門店」サイトより大和総研作成

図表作成：リサーチ業務部データバンク課

ユーロ圏 GDP

- 16年Q1の成長率（確報値）は前期比+0.6%と速報値の同+0.5%から上方修正された
- 個人消費、政府消費、総固定資本形成、在庫変動という内需がそろって拡大
- 輸入の伸びが輸出の伸びを上回り、純輸出の前期比寄与度は3四半期連続でマイナス



ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：％）

	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1
実質GDP	-0.3	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1	0.3	0.4	0.6	0.4	0.3	0.4	0.6
個人消費	-0.3	0.2	0.3	0.2	0.0	0.2	0.4	0.6	0.4	0.3	0.5	0.3	0.6
政府消費	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.1	0.5	0.3	0.3	0.5	0.4
総固定資本形成	-2.0	0.8	0.9	0.3	0.4	-0.4	0.5	0.5	1.5	0.1	0.5	1.4	0.8
設備投資	-1.4	1.0	1.3	1.4	0.1	0.5	1.1	0.7	1.8	1.1	0.8	1.6	0.9
住宅投資	-2.3	0.6	0.3	-0.9	0.9	-1.6	0.0	0.2	1.1	-0.5	0.4	1.1	0.8
その他建設投資	-2.7	0.6	0.9	-0.5	0.4	-1.1	-0.3	0.2	1.4	-1.4	0.0	1.5	0.6
輸出	0.3	1.2	0.5	1.1	0.8	1.0	1.6	1.2	1.5	1.6	0.4	0.7	0.4
輸入	0.1	1.1	1.3	0.6	1.1	1.1	1.5	1.1	2.3	0.9	1.3	1.4	0.7

ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：％）

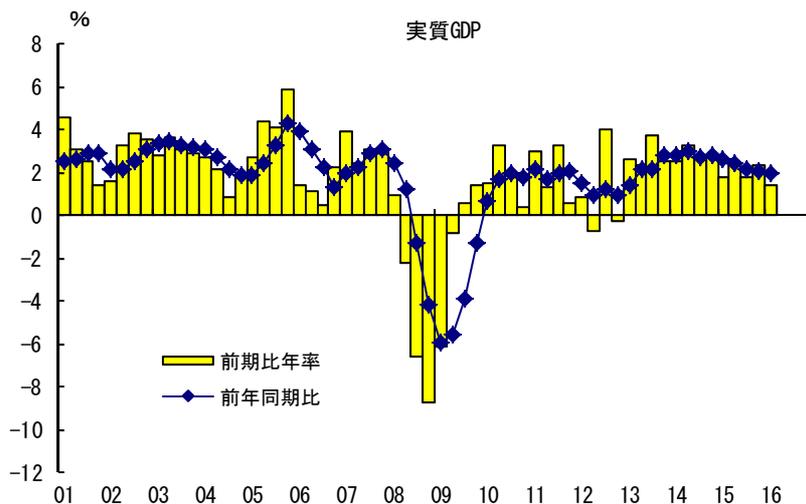
	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1
実質GDP	-0.28	0.40	0.28	0.18	0.21	0.10	0.30	0.37	0.55	0.38	0.32	0.42	0.55
個人消費	-0.15	0.12	0.14	0.10	0.00	0.11	0.24	0.31	0.22	0.18	0.29	0.17	0.30
政府消費	0.02	0.01	0.04	0.04	0.05	0.04	0.07	0.03	0.11	0.06	0.07	0.10	0.08
総固定資本形成	-0.39	0.16	0.18	0.06	0.08	-0.08	0.09	0.09	0.30	0.01	0.10	0.29	0.17
設備投資	-0.14	0.10	0.12	0.13	0.01	0.05	0.11	0.07	0.18	0.11	0.08	0.16	0.10
住宅投資	-0.12	0.03	0.02	-0.04	0.04	-0.08	0.00	0.01	0.06	-0.02	0.02	0.05	0.04
その他建設投資	-0.14	0.03	0.04	-0.03	0.02	-0.05	-0.02	0.01	0.07	-0.07	0.00	0.07	0.03
在庫変動	0.18	0.02	0.22	-0.24	0.17	0.07	-0.20	-0.13	0.17	-0.25	0.22	0.14	0.10
輸出	0.11	0.52	0.23	0.46	0.36	0.44	0.73	0.53	0.70	0.73	0.18	0.31	0.20
輸入	-0.04	-0.42	-0.51	-0.24	-0.44	-0.46	-0.62	-0.47	-0.93	-0.36	-0.53	-0.59	-0.32
純輸出	0.08	0.10	-0.28	0.22	-0.09	-0.02	0.10	0.06	-0.24	0.37	-0.35	-0.28	-0.12

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

*このレポートに掲載しているユーロ圏データに関するおことわり
 ユーロ圏とは、EU加盟国のうち単一通貨ユーロを導入し、金融政策を欧州中央銀行（ECB）に委ねている国々のこと。15年1月にリトアニアが19番目の加盟国となった。このレポートに掲載されているユーロ圏のデータは、14年以前のデータもすべて19カ国ベースである（Eurostatが19カ国ベースの遡及データを公表）。

英国 GDP

- 16年Q1の成長率（確報値）は速報値と同じ前期比+0.4%で、15年Q4の同+0.6%からは減速した
- ただし、個人消費、政府消費、総固定資本形成の16年Q1の前期比寄与度はそれぞれ15年Q4を上回っている
- 16年Q1の景気減速の主因は輸出が落ち込んだことによる純輸出寄与度のマイナス幅拡大



英国の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1
実質GDP	0.7	0.6	0.9	0.6	0.6	0.8	0.7	0.7	0.5	0.6	0.4	0.6	0.4
個人消費	0.5	0.1	0.9	0.7	0.5	0.8	0.5	0.5	0.8	0.8	0.5	0.6	0.7
政府消費	-0.7	0.8	0.6	0.2	1.1	0.8	0.3	-0.3	0.4	0.7	0.7	0.3	0.4
総固定資本形成	-0.5	1.9	3.0	2.1	0.6	2.6	1.8	0.1	1.5	1.3	0.4	-1.1	0.5
政府部門	0.3	-4.9	6.8	-1.0	9.4	-11.4	7.8	2.3	1.1	-2.6	-0.3	-3.5	2.5
企業部門	0.5	1.8	1.8	2.6	-3.4	6.6	0.0	-0.1	2.9	0.7	1.3	-2.0	-0.5
民間住宅投資	0.1	7.9	1.6	1.0	4.7	1.8	3.7	-0.5	-0.1	4.0	-2.3	1.2	-0.3
輸出	1.9	3.3	-0.8	-2.9	0.9	1.2	0.4	3.8	-0.1	2.8	-0.5	0.1	-0.3
輸入	-0.7	3.3	0.1	1.8	-1.1	-0.5	2.0	2.8	3.5	-2.5	2.9	0.9	0.8

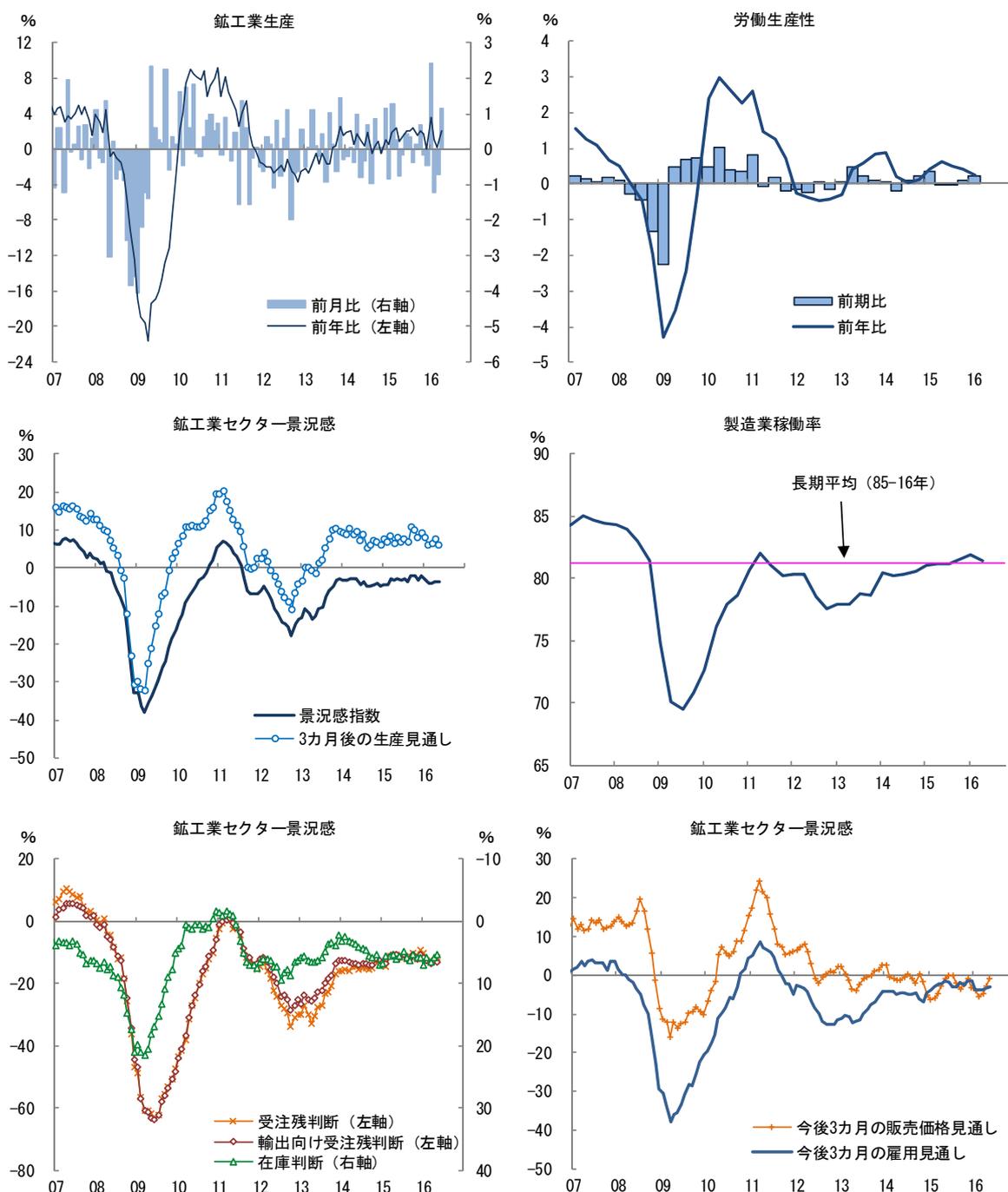
英国の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1
実質GDP	0.66	0.59	0.92	0.64	0.64	0.80	0.66	0.67	0.46	0.60	0.45	0.59	0.36
個人消費	0.30	0.05	0.55	0.46	0.34	0.50	0.33	0.34	0.54	0.52	0.31	0.39	0.43
政府消費	-0.14	0.17	0.12	0.05	0.23	0.16	0.05	-0.07	0.08	0.15	0.14	0.06	0.08
総固定資本形成	-0.08	0.30	0.49	0.35	0.10	0.44	0.31	0.02	0.26	0.23	0.06	-0.19	0.09
政府部門	0.01	-0.13	0.17	-0.03	0.24	-0.32	0.19	0.06	0.03	-0.07	-0.01	-0.09	0.06
企業部門	0.04	0.16	0.17	0.25	-0.32	0.60	0.00	-0.01	0.28	0.07	0.13	-0.19	-0.04
民間住宅投資	0.00	0.24	0.05	0.03	0.15	0.06	0.12	-0.02	0.00	0.14	-0.08	0.04	-0.01
在庫変動	-1.03	0.15	0.05	1.22	-0.70	-0.81	0.51	0.22	0.70	-2.04	0.89	0.43	0.18
輸出	0.56	0.97	-0.24	-0.86	0.27	0.35	0.12	1.09	-0.04	0.82	-0.15	0.02	-0.08
輸入	0.22	-1.05	-0.04	-0.57	0.37	0.16	-0.64	-0.91	-1.14	0.85	-0.95	-0.30	-0.27
純輸出	0.79	-0.08	-0.28	-1.43	0.64	0.51	-0.52	0.18	-1.18	1.67	-1.09	-0.28	-0.35

出所：英国統計局、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 生産

- 4月の鉱工業生産は前月比+1.1%と3カ月ぶりにプラスの伸びとなった。中でも資本財（同+1.9%）、消費財（同+1.7%）の伸びが目立つ
- 5月の鉱工業セクター景況感は4月から変わらず。構成項目のうち、受注残判断と在庫判断はやや改善したが、生産見通しが悪化した
- 16年Q1の労働生産性は前期比+0.2%、前年比+0.3%。13年半ば以降、前年比プラスの伸びが継続してはいるがごく低水準の伸びにとどまっている

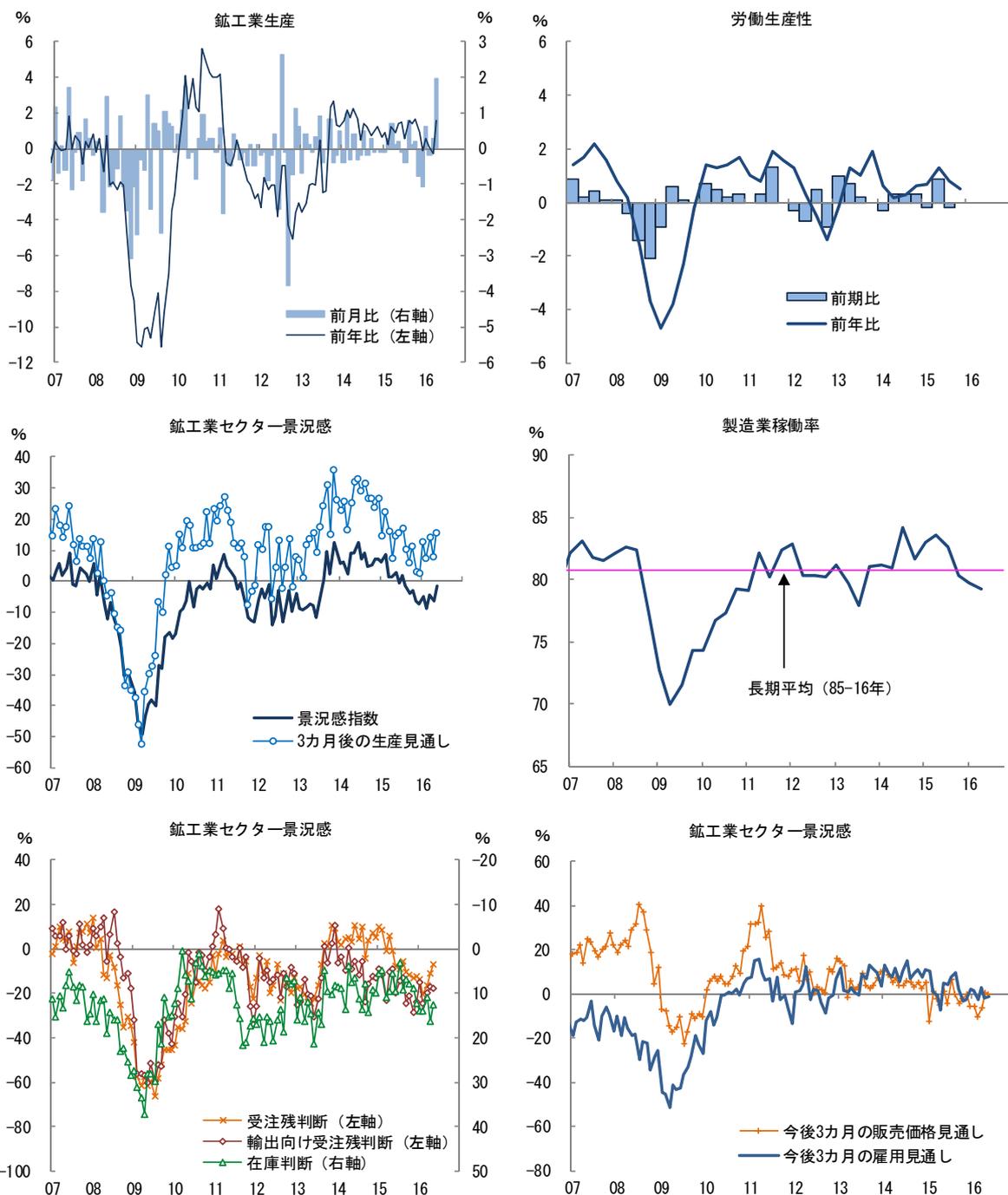


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

英国 生産

- 4月の鉱工業生産は前月比+2.0%と急拡大。自動車（同+9.5%）、医薬品（同+8.6%）などが牽引した。前年比も+1.6%と6カ月ぶりの高い伸びとなっている
- 5月の鉱工業セクター景況感は4月から大幅改善。受注残判断、在庫判断、生産見通しという構成項目がそろって改善した
- 5月の鉱工業セクターの輸出向け受注残判断と雇用見通しはどちらも低調

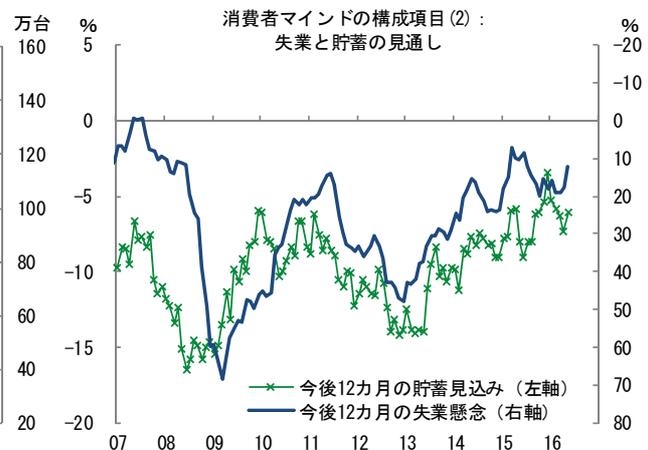
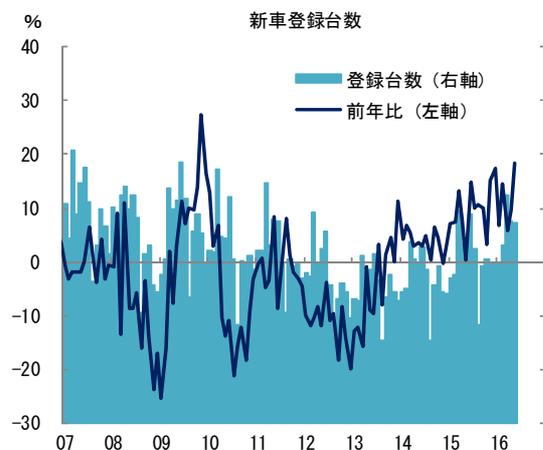
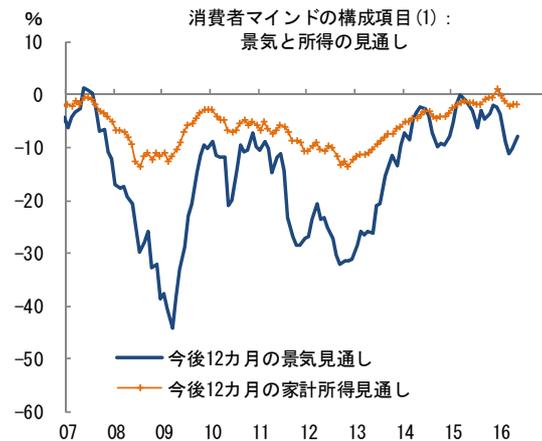


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会データより大和総研作成

ユーロ圏 消費

- 16年Q1の個人消費は前期比+0.6%となり、12四半期連続の拡大となった
- 5月の消費者マインドは2カ月連続で改善。引き続き長期平均を大きく上回っている
- 5月の新車登録台数は前年比+18.4%と一段と加速した

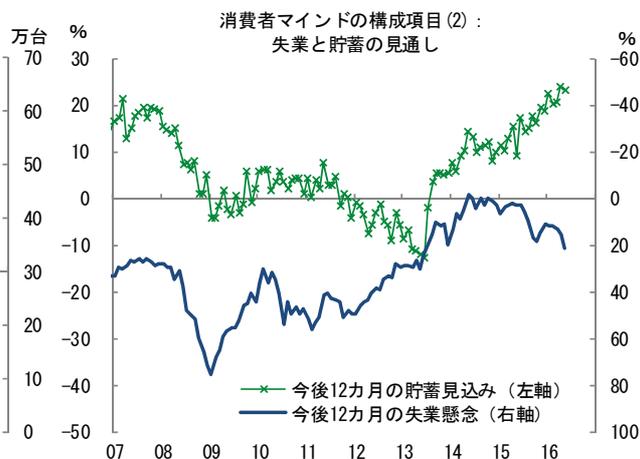
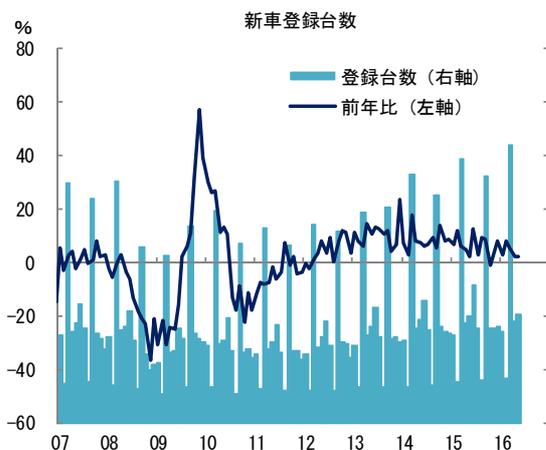
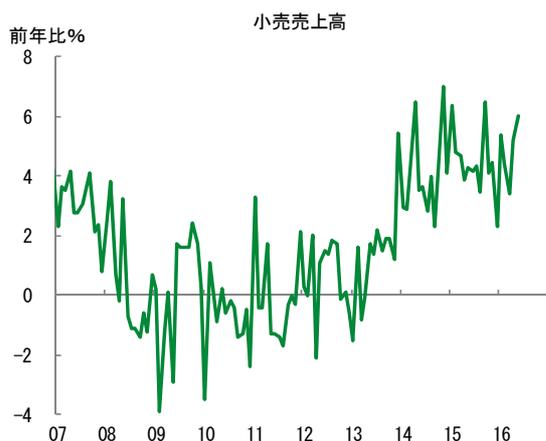


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

英国 消費

- 16年Q1の個人消費は前期比+0.7%となり、20四半期連続の拡大となった
- 5月の小売売上高は前年比+6.0%と大幅加速
- 消費者マインドは5月まで5カ月連続で悪化。景気見通しの悪化傾向が顕著であり、失業懸念が増し、貯蓄意欲が高まっている

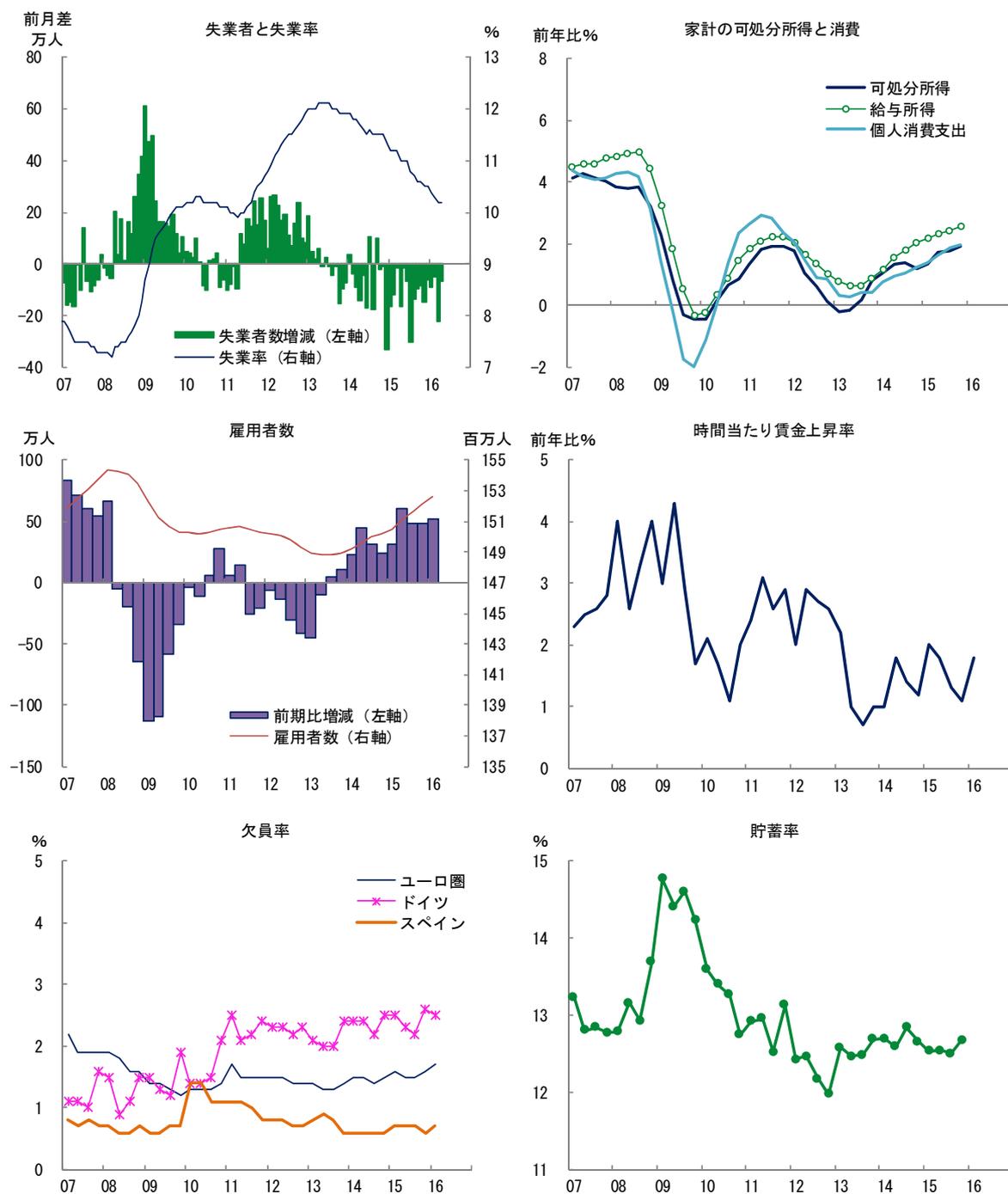


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

ユーロ圏 雇用・所得

- 4月の失業者数は前月から6.7万人減となり、14年10月以来前月比での減少が続いている
- 4月の失業率は10.2%で3月から変わらず。11年8月以来の低水準にある
- 16年Q1のユーロ圏の欠員率は5年ぶりとなる1.7%へ上昇

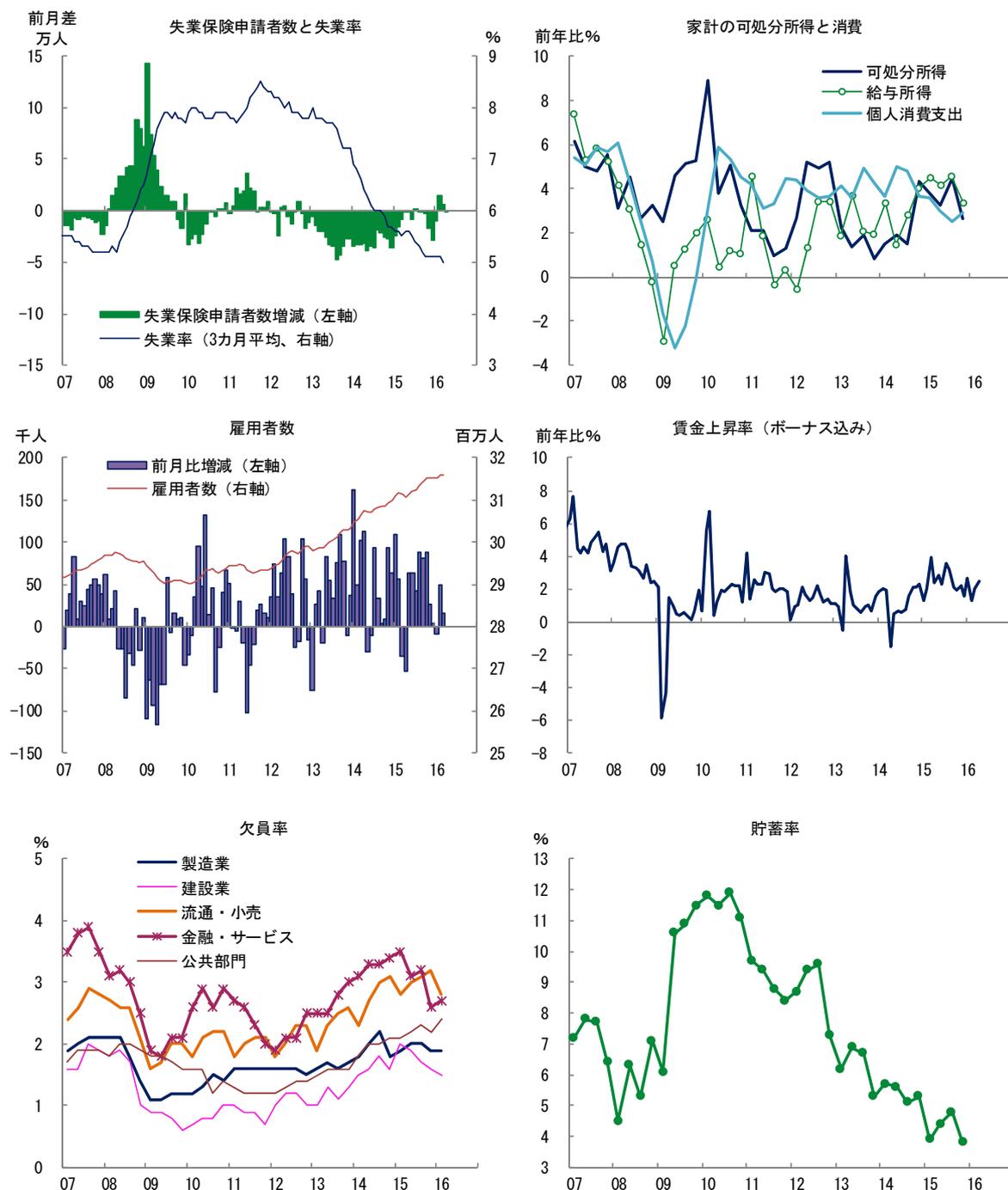


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) * 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成

英国 雇用・所得

- 16年2-4月平均の失業率は5.0%へ低下。これは05年9月以来の低水準である
- 5月の失業保険申請者数は前月から400人減となり、3カ月ぶりに減少した
- 4月の賃金上昇率（ボーナス込み）は前年比+2.5%へ加速した

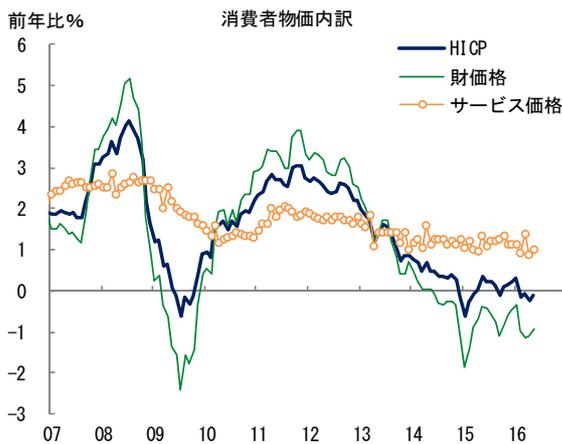
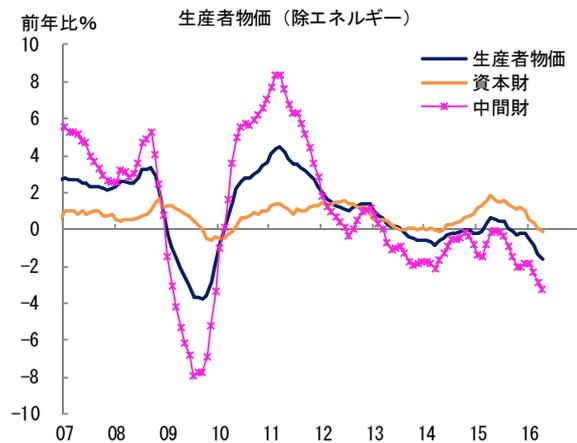


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = $\text{Number of job vacancies} / (\text{Number of occupied posts} + \text{Number of job vacancies}) \times 100$

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 物価

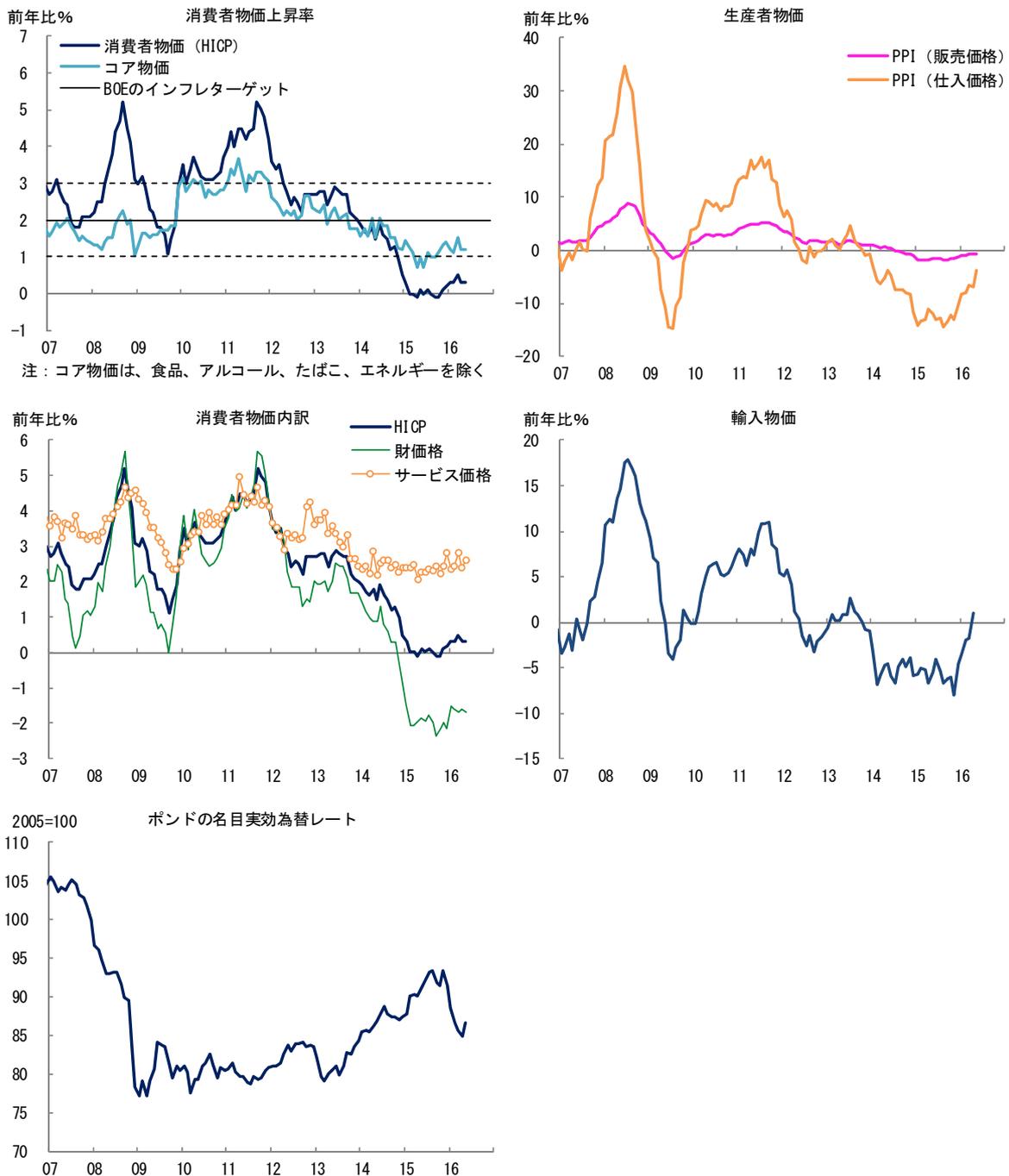
- 5月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比-0.1%となり、前月から下落幅が縮小
- エネルギー価格の下落（同-8.1%）が引き続き最大の物価の押し下げ要因である
- ただし、5月の原油価格（北海ブレント）は1バレルあたり46.6ドルと小幅ながら4カ月連続で上昇した



出所：Eurostat、ECB、Haver Analytics データより大和総研作成

英国 物価

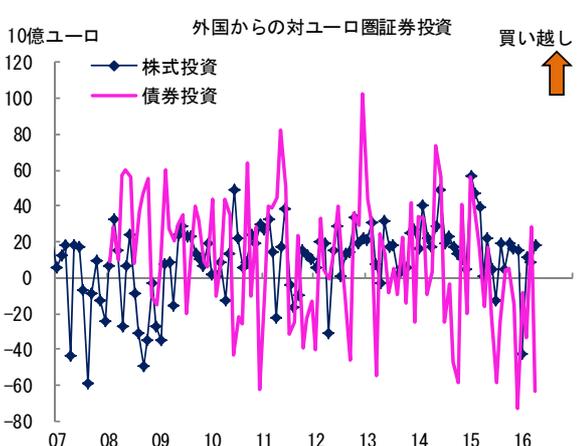
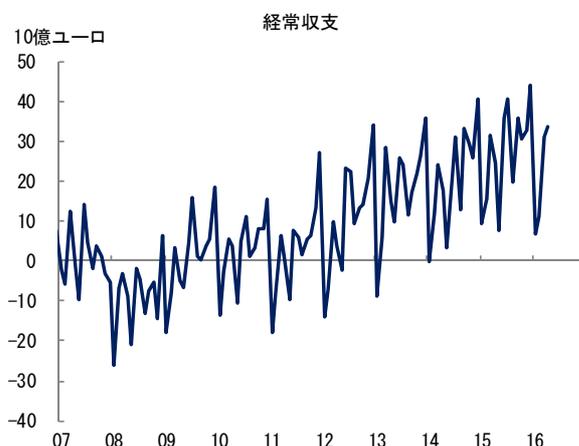
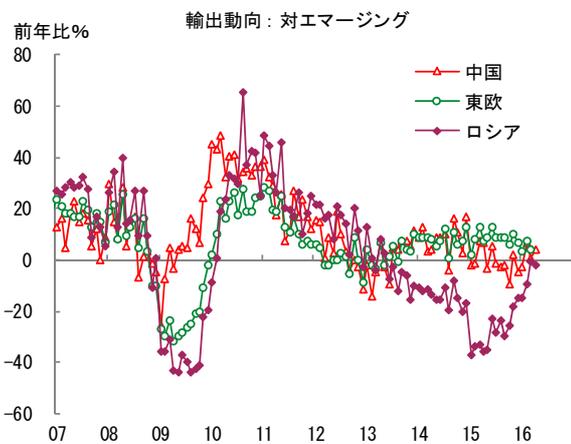
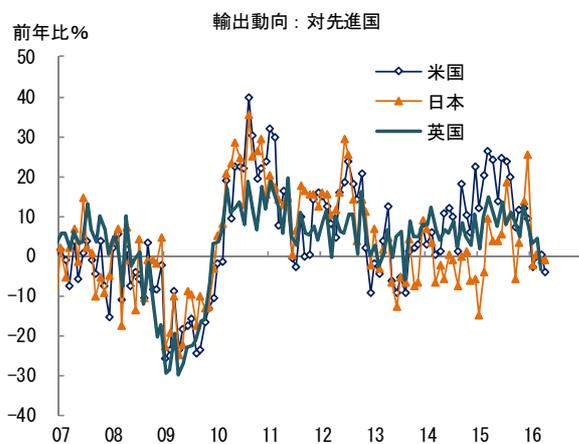
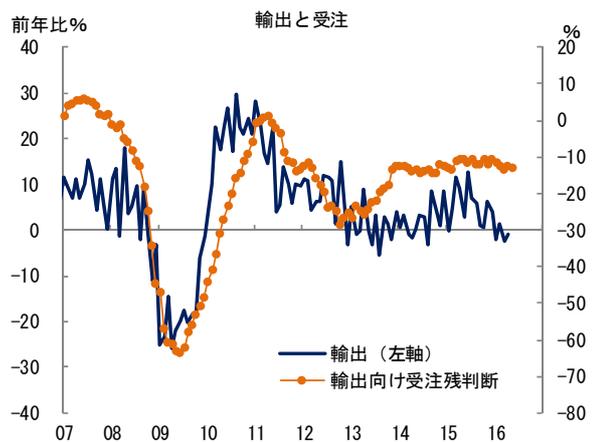
- 5月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+0.3%と4月と同水準。昨年末以来の小幅な物価上昇率の加速傾向は足踏み状態にある
- サービス価格は同+2.6%と堅調な一方、財価格が同-1.7%と下落傾向が続いている
- 4月の輸入物価は同+1.0%と2年半ぶりに上昇に転じた。ポンド安と原油価格の反発が要因と考えられる



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 国際収支

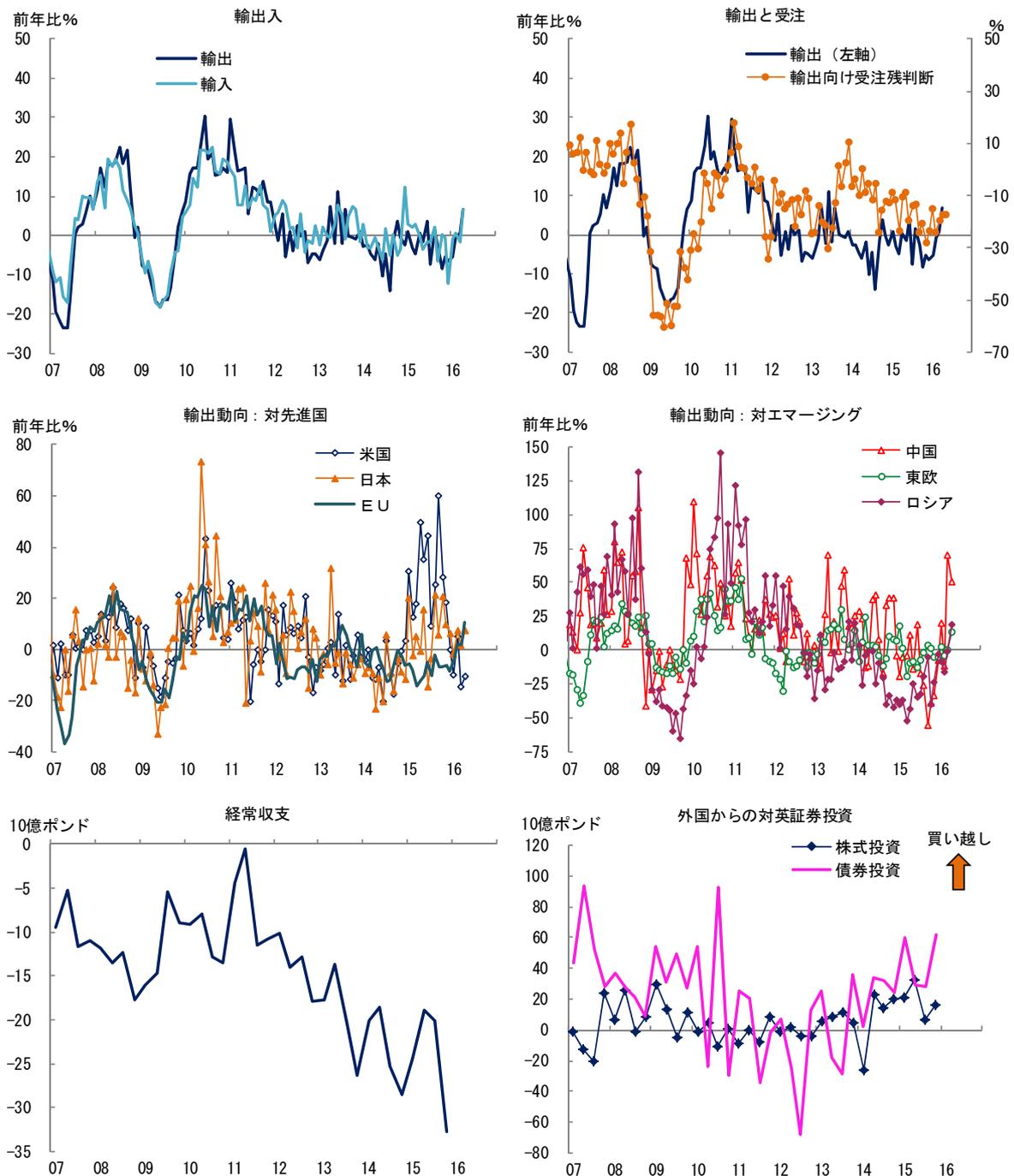
- 4月の輸出は前年比-0.9%、輸入は同-5.3%と共に2カ月連続で前年割れとなった。ただ、輸入の落ち込みの方が大きいため、貿易収支は4月比小幅減の275億ユーロの黒字を確保
- 4月の輸出を国別に見ると、中国向けは同+3.9%と拡大したが、米国向けが同-4.2%と前年割れした
- 4月の外国人投資家によるユーロ圏への証券投資を見ると、株式投資の買い越し額が小幅に増加した一方、債券投資は15年12月以来の大幅な売り越しに転じた



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

英国 国際収支

- 4月の輸出は前年比+6.7%、輸入は同+6.8%とそろって大幅な伸びを記録した
- 4月の輸出急拡大は、輸出の5割弱を占めるEU向けが同+10.3%と4月の同+1.8%から加速した影響が大きい。また、中国(同+51.0%)、ロシア(同+18.6%)、東欧(同+13.2%)というエマージング諸国向けも高い伸びを記録した
- 一方、米国向け輸出は4月に同-14.6%と落ち込んだあと、5月も同-10.7%と不振



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成